

活動報告書兼領収書等添付票


項目	広聴広報費
整理番号	5

① 年月日	H31.4.8						
② 内容	HP維持管理費 (H31.1~3月分) ※議員が開催する会議（県政報告会等）の場合、開催通知（案内文）及び会議次第を添付すること						
③ 政務活動以外の活動（議会・後援会・政党活動等）が含まれている場合はその内容及び按分率の根拠							
④ 経費	費目	領収書金額 (円)	按分率 (/)	充当金額 (円)	支払の内容	印刷成果物	発送物写し
	広報費	162,864	10/10	162,864	HP維持管理費 (H31.1~3月分)		
	合計	162,864		162,864			

(注) 専ら来費や後援会長挨拶ばかりで、議員自らによる県政報告や参加者との意見交換等がないものについては、政務活動とはみなされません。

(注) 印刷費を計上している場合は、当該印刷費に係る成果物を添付すること。

(注) 郵送費を計上している場合は、支払の内容欄に発送数及び発送内容を記載の上、発送物の写しを提出すること。

議員本人による確認欄（次の事項に間違いがなければ自筆で☑を記入すること）	会派使用欄
<input checked="" type="checkbox"/> 当該支出は政務活動費の使途基準（条例第2条第1項）に合致した適正な支出である	経理責任者審査 
<input checked="" type="checkbox"/> 政務活動以外の活動が含まれている場合、活動実績に応じた按分等がされている	
<input checked="" type="checkbox"/> 後援会主催の報告会等ではない	
<input checked="" type="checkbox"/> 参加者等に対してお茶及びお茶うけを超える飲食（公職選挙法の制限を超える飲食）の提供はない	
<input checked="" type="checkbox"/> 印刷費を計上している場合は、成果物（現物）が添付されている	
<input checked="" type="checkbox"/> 郵送費を計上している場合は、発送数及び発送内容が記載されており、発送物の写しが提出されている	

(裏面)

本欄に領収書等を添付してください。

※裏面は各項目（参考様式1～11）共通です。

※領収書は重ならないように添付してください。

貼りきれない分は、A4用紙（任意様式）に貼り付けてください。

【按分による支出の場合】

按分率	
政務活動費の支出額	円

(注) 事務所費の場合は「事務所状況報告書」と同じ按分率

【経費の一部に充当した支出の場合】

政務活動費の支出額	円
-----------	---

振込口座振替(振替)による振込受付書

店舗内専用

依頼日 310808
 年 月 日

振込金受取書

お振込先 (振込先) 銀行 信農 70 [REDACTED] 組 協 他

お受取人 (おなまえ) カ) プラニン シ) カ) ニ) シ) ヲ) ウ) イ) フ) [REDACTED]

預金種目 普通 貯 ぞ [REDACTED] 通 座 番 他 [REDACTED]

金額 ¥ 162000

消費税込 手数料 4864

うら 手形 小切手等

ご依頼人 (おなまえ) ト) シ) マ) ケ) ン) 井) バ) ヲ) カ) イ) シ) ヲ) ウ) ニ) シ) ヲ) フ) ウ) 0886213030

おとくわ (おなまえ) 徳島県議会自由民主党 様
 徳島市万代町1-1

(ご注意)
 ●振込依頼書に記載相違等不備のあった場合は、照会等のため振込が遅延することがあります。
 ●やむを得ない事由による通信機器・回線の障害等によって振込が遅延することがあっても当行は責任を負いません。
 ●午後2時以後のご用紙の場合は、当日中に入金できませんのでご注意ください。
 ●振込規定を店頭に掲げ付けてありますので、必要項目はお申出ください。なお、裏面に抜粋を掲載しております。

この振込依頼書は、銀行の振込業務にのみ有効です。

本受領書は、担当者印での発行はいたしてありません。ご不明な点がございましたら、取扱店にご確認ください。

当行をご利用いただきましてありがとうございます。



株式会社 阿波銀行

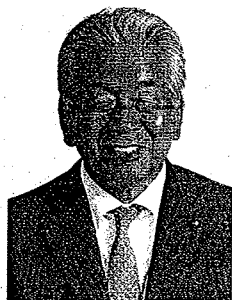
徳島県議会 自由民主党

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

会派所属議員 27人

会長	嘉見 博之
副会長	杉本 直樹 岡本 富治 川端 正義 木南 征美
幹事長	桜本 孝
副幹事長	岡田理絵 元木章生 井川龍二 眞貝浩司

ごあいさつ



会長
嘉見博之

平成29年4月、徳島県議会の自由民主党系3会派「明政会」、「自由民主党・県民会議」、「自民創政会」が合流し、「徳島県議会自由民主党」が誕生する運びとなりました。

私どもの会派は、徳島県議会議員37人のうち27人を擁する県議

会最大会派であり、県政に与える影響は大きく、その重責を担う立場として自覚と責任を持って所属議員が一丸となり議会運営に積極的に取り組んでおります。

現在、依然として厳しい県財政の中、人口減少問題や防災・減災対策など県政の重要課題が山積しています。

こうした課題に迅速かつ的確に対応し、明るい未来を実現するためには、二元代表制の一翼を担う県議会として、執行機関に対するチェック機能に加え、議会の政策立案能力の向上が求められています。

私どもの会派は幸いにも県内の

全ての選挙区から選出された議員で構成されており、広く県下の事情に精通している強みがあります。その強みを最大限に活かし、各地域の皆さまからのご要望や県内各地域の諸課題を的確に把握し、その解決に向けた政策立案を行うとともに、着実に県政の諸施策へ反映させるよう全力を尽くしてまいります。

最後になりましたが、徳島県議会自由民主党は、責任政党の覚悟を持って、県民の皆さまのご期待に応えられるよう、常に県民目線で県政発展のため努めてまいりますので、皆さまのご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

活動報告

徳島県議会自由民主党では、県政の重要課題を解決するため、県議会での予算や条例等の審議をはじめ、国や自由民主党に対する政策提言を積極的に行っています。また、議員としての知識や見識を深めるとともに自身の議員活動に役立てることを目的に、県内外において視察研修等を行っています。活動の一部をご紹介します。

平成29年8月

二階幹事長への要望

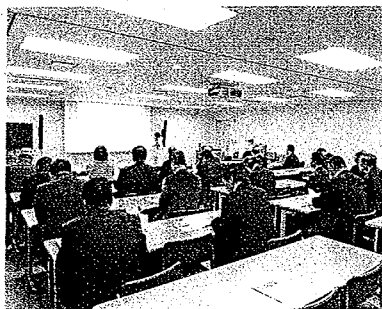


平成29年8月14日、自由民主党の二階幹事長に対し、県とともに、高速道路ネットワークの早期整備や関西アクセスを含む四国新幹線の実現、国土強靱化の着実な推進、HEU・EPAなどグローバル化への対応、消費者庁・消費者委員会・国民生活センターの徳島県への全面移転に向けた取組など7項目について政策提言を行いました。

また、徳島県の実情を知っていただくため、県南高速道路(徳島東ICや阿南ICなど)の現地視察をはじめ、とくしま消費者行政プラットフォーム等をご視察いただきました。

平成29年10月

県外視察



平成29年10月26日、国立がん研究センターを訪問し、若尾文彦センター長様から、がん対策推進基本計画や緩和ケアなど、国のがん対策についてご説明いただきとともに、徳島県のがん対策の現状について様々な数値を基にアドバイス

をいただき、意見交換を行いました。

都道府県会館において、JTB総合研究所コンサルティング事業部主任研究員 河野まゆ子様から、国内旅行市場の潮流、インバウンド市場の現状、徳島県における観光マーケティング調査結果など、急速に変化する観光市場を踏まえた徳島県の観光の現状と課題についてご講演いただくとともに、意見交換を行いました。

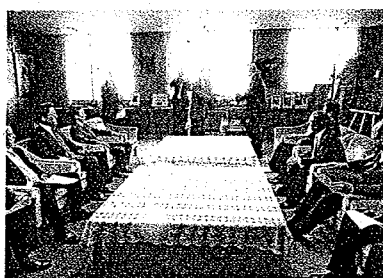
また、東洋大学国際地域学部教授・慶応義塾大学名誉教授 竹中平蔵様から、日本の政治・経済の現状や将来についてご講演いただくとともに、意見交換を行いました。



平成29年10月27日、東京都台東区谷中のHAGISOを訪問し、築60年の木造アパートを改修し、ギャラリー、カフェ、アトリエなど文化総合施設としてリノベーションした事業展開や、まちづくりの取組についてご説明いただきとともに、商店街等を視察しました。

平成30年1月

県への予算要望



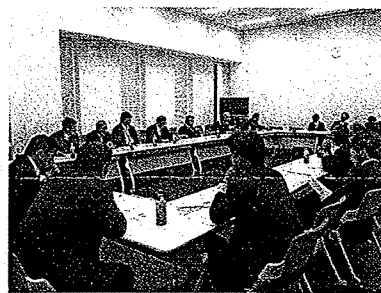
平成30年1月12日、徳島県議会自由民主党の呼びかけにより、県議会のすべての会派が参加する形で、県に対し、

平成30年度公共事業予算の確保に関する要望を行いました。

- 1 国の補正予算と合わせて、切れ目のない大胆な予算編成を行い、県土強靱化、高規格幹線道路の南伸などの道路整備、農林水産業の競争力強化に必要な公共事業予算について、100億円を超える増となる額を確保すること。
- 2 社会資本の地域に密着した諸課題へのきめ細やかで迅速な対応や、老朽化対策を着実に推進するため、維持管理に必要な予算を大幅に増額すること。

その結果、徳島県の公共事業及び県単独維持補修に係る予算額は、平成29年度2月補正予算と平成30年度当初予算を合わせた14か月予算で773億円となり、平成29年度当初予算と比べ128億円的大幅増となりました。

県外視察



平成30年1月15日、国土交通省道路局の担当者から、四国及び徳島県内の高速道路の整備計画・状況についてご説明いただきとともに、徳島県南への早期整備などの要望を行いました。

また、内閣府の担当者から、南海トラフ巨大地震や首都直下地震など、大規模自然災害に対するの平時からの備えや、発災後の迅速な復旧・復興など、国土強靱化に係る様々な計画の指針となる国の国土強靱化基本計画についてご説明いただきとともに、意見交換を行いました。



平成30年1月16日、陸上自衛隊ヶ谷駐屯地を訪問し、防衛省の担当者から、国民保護計画に基づく国の取組等についてご説明いただくとともに、同駐屯地の施設を視察しました。

平成30年3月

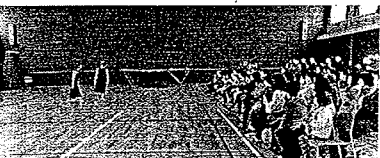
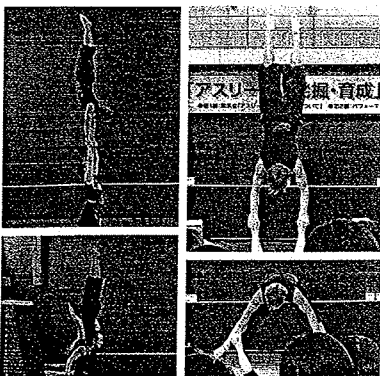
講演会



2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催など、スポーツに対する関心が高まって以上に来る中、徳島県においてもアスリートの発掘・育成が重要な課題の一つとなっています。

徳島県議会自由民主党は、平成30年3月18日、徳島市立スポーツセンターにおいて、全国各地で優れた肉体パフォーマンスを行っているサムライ・ロック・オーケストラのメンバーを招聘し、アスリートの発掘・育成をテーマとした講演会及びスポーツ体験会を開催しました。

当日は県内で体操競技をしている子どもさんや保護者の方、スポーツに関心をお持ちの方など、多くの方にご参加い

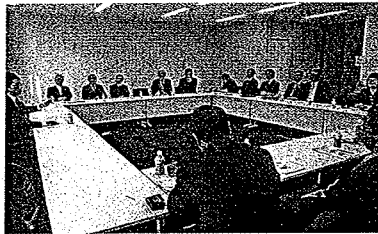


いただきました。

また、講演会・体験会終了後の参加者アンケートでは、「スポーツを続けるか悩んでいたのが今回の話しが大変参考になった」「今回の講演会等を一過性のもとのせず継続的にすることで将来のトップアスリートの掘り起こしに繋がる」「子どもに様々な体験をさせることで将来の可能性が広がる」等、貴重なご意見をいただきました。

平成30年4月

県外視察等



平成30年4月19日、東京都内において山本有二衆議院議員、齋藤健農林水産大臣及び小泉進次郎衆議院議員からご講演いただきました。

山本有二衆議院議員からは、四国新幹線の実現に向けて、国政レベルでの議論の俎上に載せられるよう四国が丸となって要望を続けることの重要性などについてご講演いただきました。

齋藤健農林水産大臣からは、農業における輸出分野の可能性など、今後の農林水産政策の展開をテーマにご講演いただきました。

小泉進次郎衆議院議員からは、人生100年時代を見据えた年金制度のあり方や議員年金制度、地方議会改革など様々な課題についてご講演いただきました。

また、東京都渋谷区にある、徳島の食とライフスタイルをテーマとした情報発信拠点であるターンテーブルを視察しました。

平成30年4月20日、羽田市場株式会社を訪問し、野本良平取締役会長様から、日本のハブ空港における水産流通システムについてご説明いただくとともに、鮮魚加工の現場を視察しました。

会派の有志議員による活動

平成30年4月

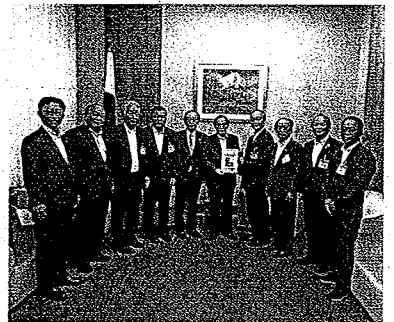
合区の早期解消促進大会

平成30年4月27日、東京都内で開催さ

れた合区の早期解消促進大会に、徳島県議会自由民主党の議員11人が参加し、全国から集まった地方公共団体関係者とともに、参議院選挙における合区の早期解消及び都道府県単位による代表が国政に参加できる選挙制度とすることを求める大会アピールを行いました。

平成30年7月

四国横断自動車道、阿南安芸自動車道の早期整備に向けた緊急提言



平成30年7月17日、徳島県、公明党県議団、県内関係市町の代表者等と合同で、総理大臣官邸、国土交通省、財務省、自由民主党を訪問し、高速道路ネットワークの整備推進に係る予算の拡大、四国横断自動車道の整備促進、阿南安芸自動車道の整備促進など、高速道路ネットワークの早期整備についての緊急提言を実施しました。

平成30年11月

徳島自動車道四車線化に向けた要望



平成30年11月15日、徳島県議会徳島自動車道整備促進議員連盟の活動として、徳島県、徳島自動車道四車線化促進期成同盟会と合同で、国土交通省、財務省、自由民主党を訪問し、徳島自動車道(徳島IC~川之江東JCT間)の計画的な早期四車線化に向けた要望活動を行いました。

金派所属議員 27名



会長

かみ ひろゆき
嘉見博之

当選回数/5回
選挙区/阿南選挙区



副幹事長

しんがい ひろし
眞貝浩司

当選回数/1回
選挙区/板野選挙区



てらい しょうじ
寺井正邇

当選回数/3回
選挙区/阿波選挙区



副会長

すぎもと なおき
杉本直樹

当選回数/6回
選挙区/那賀選挙区



きしもと たいじ
岸本泰治

当選回数/3回
選挙区/徳島選挙区



まるわか ゆうじ
丸若祐二

当選回数/3回
選挙区/阿波選挙区



副会長

おかもと とみじ
岡本富治

当選回数/6回
選挙区/小松島・勝浦選挙区



すみ かずひと
須見一仁

当選回数/2回
選挙区/徳島選挙区



きのした いさお
木下 功

当選回数/3回
選挙区/美馬第1選挙区



副会長

かわばた まさよし
川端正義

当選回数/5回
選挙区/鳴門選挙区



おか ゆうき
岡 佑樹

当選回数/2回
選挙区/徳島選挙区



きただい まさふみ
来代正文

当選回数/7回
選挙区/三好第1選挙区



副会長

きみなみ ゆきよし
木南征美

当選回数/5回
選挙区/板野選挙区



きた ひろし
喜多宏思

当選回数/3回
選挙区/徳島選挙区



やまし くにお
山西国朗

当選回数/1回
選挙区/名西選挙区



幹事長

かしもと たかし
榎本 孝

当選回数/6回
選挙区/吉野川選挙区



なかやま としお
中山俊雄

当選回数/2回
選挙区/小松島・勝浦選挙区



副議長

いわまる まさふみ
岩丸正史

当選回数/3回
選挙区/名西選挙区



副幹事長

おかだ りえ
岡田理絵

当選回数/3回
選挙区/鳴門選挙区



いわさ よしひろ
岩佐義弘

当選回数/1回
選挙区/阿南選挙区



議長

しげきよ よしゆき
重清佳之

当選回数/5回
選挙区/海部選挙区



副幹事長

もとぎ あきお
元木章生

当選回数/3回
選挙区/三好第2選挙区



しまだ まさと
島田正人

当選回数/1回
選挙区/阿南選挙区



にしざわ きろう
西沢貴朗

当選回数/7回
選挙区/海部選挙区



副幹事長

いかわ りゅうじ
井川龍二

当選回数/2回
選挙区/徳島選挙区



はらい たかし
原井 敬

当選回数/1回
選挙区/吉野川選挙区



みなみ つねお
南 恒生

当選回数/3回
選挙区/美馬第2選挙区

徳島県議会
自由民主党

料金別納
郵便

配達地域指定

徳島市・佐那河内村に
お住いの皆さまへ

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組めます!

徳島県議会
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

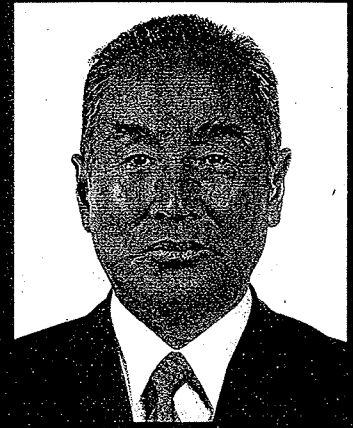
県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党

徳島選挙区

きた ひろし
喜多宏思

当選回数/3回



「強く正しい徳島に」真っ直ぐに一生懸命です

徳島県議会議員の喜多宏思(きた ひろし)です。

世界の人口は75億人から2060年には100億人に増加する一方、わが国の人口は12,600万人から2060年には8700万人に減少すると予測されています。

このような中、徳島県においても、人口が75万人から2040年には57万人にまで減少すると推計されており、人口減少の克服と東京一極集中の是正、南海トラフ巨大地震集中豪雨等の自然災害対策、教育、農林水産、経済雇用、健康寿命医療福祉、財政問題等々、多くの課題が山積しております。

私は、県議会議員として、責任と信頼の政治による、徳島県100年の大計に向かって「強く正しい徳島県に」真っ直ぐに一生懸命です。

夢と希望のある安全で安心できる徳島県になるよう国・県・市に関係なく、どんなことでもご相談、ご要望、ご意見をお願いします。お役に立つことが出来ますよう頑張っております。

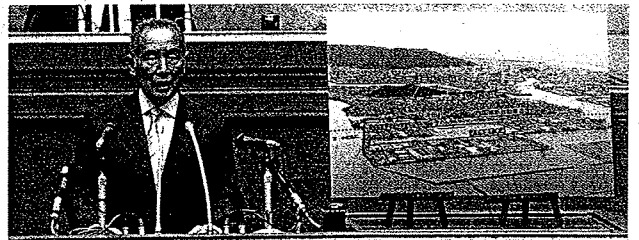
昭和58年から徳島市議会議員を6期24年、平成19年から徳島県議会議員を3期12年務めさせていただいております。また、平成28年3月から平成29年3月まで県議会の多くの皆様方のご推挙を賜り、第101代副議長に選任いただきました。長い間の多くの皆様方からいただいたご指導、ご支援に心から感謝いたします。

県議会3期目平成27年から30年の定例会本会議の質問は次のとおりです。

平成28年度は副議長のため本会議の質問はありません。

○平成27年6月定例会(H27.6.17)

地方創生の推進に向けた財源確保
少子化対策
教育の振興
高齢者のいきがい対策
観光振興
自然エネルギーの導入促進
津田インターチェンジ



平成29年9月徳島県議会定例会(H29.9.21 県議会議場)

○平成29年9月定例会(H29.9.21)

大規模災害時の物流体制の確保
工業用水道の地震対策と今後の取組方針
「南海地震徳島県地震津波碑」の今後の活用
四国八十八箇所霊場と遍路道の世界遺産への取組み
高齢者の消費者被害防止
若者の「とくしま回帰」の強化
「地方創生カレッジ」の活用による人材育成
津田地区の活性化



正・副議長定例記者会見(H28.10.24 県庁記者会見室)

○平成30年6月定例会(H30.6.22)

男女共同参画の推進
子ども・女性の犯罪被害防止対策
小学校英語教育の充実
「統一的な基準による地方公会計」の戦略的な活用
大阪府北部の地震を踏まえた取組み
徳島県総合防災訓練
津田インターチェンジの整備と周辺道路の渋滞対策



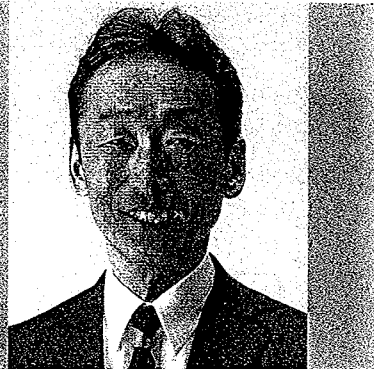
第156回全国都道府県議会議長会定例総会(H29.1.20 都道府県会館)

徳島県議会 自由民主党

徳島選挙区

岸本 泰治

当選回数 3回



明日の徳島を創る — 岸本たいじとともに —

これからの10年間、社会は大きく変わると私は考えています。

その要因、一つは、団塊の世代(昭和22年～昭和24年生まれ)の方々が75歳を迎えることです。

右表のとおり、他の年代の方の2倍近くの方がいらっしゃいます。高齢社会を迎え、社会保障費関連の増大や地域コミュニティのあり方、生きがい等の面で大きく変わっていくものと考えています。

表【年齢別人口】 平成30年1月1日現在

生まれ(昭和)	年齢	男	女	計
S.18年	74歳	4,175	4,987	9,162
S.19年	73歳	4,425	4,952	9,377
S.20年	72歳	3,380	3,761	7,141
S.21年	71歳	4,067	4,270	8,337
S.22年	70歳	6,955	7,105	14,060
S.23年	69歳	7,396	7,869	15,265
S.24年	68歳	7,133	7,396	14,529
S.25年	67歳	6,435	6,693	13,128
S.26年	66歳	6,138	6,347	12,485
S.27年	65歳	5,688	5,980	11,668
S.28年	64歳	5,471	5,671	11,142

そして、もう一つの要因として上げたいのが、AI(人工知能)を初めとするコンピューターの進化です。一説によりますと、今後10年間で49%の職業が無くなると言われてしています。そうまでならなくとも、今後の雇用環境、生活環境は大きく変化することでしょう。

こうした時代の波を、行政は、いち早く察知し

対応していかなければなりません。

後手後手に回らず、先手先手で対応していくことが肝要です。

私は、これらのことを念頭に置きながら議員活動を進めてまいりたいと考えています。

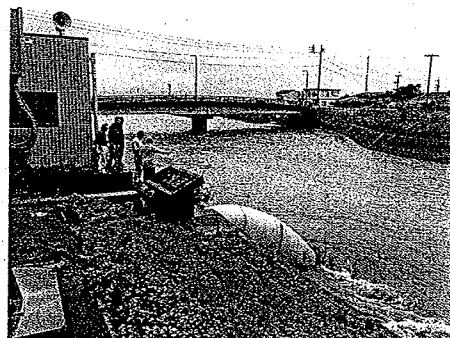
10年後の徳島県の為に、今、何をしておかなければならないのか?無尽蔵に財源があるわけではありません。時には、止める選択肢もあるかもしれません。

一つ一つの政策効果を予測し、結果を検証していかなければなりません。私たちの子供や孫たちのために、新しい時代を迎えるために、何をなし、何をなさないのか、私なりに提案、そしてチェックをしてみたいと考えています。

さらに、もう一つ大事なことがあります。たとえ先に明るい未来が見えたとしても、そこまで待てない、たった今、困っているという方がいらっしゃいます。そうした方々に「手を差し伸べる」、そういう温かい行政を実現したいと考えています。

どうぞ、皆様の暖かいご支援をよろしくお願いいたします。

地域の皆様方の身近なご要望にもお応えしています。



↑徳島市国府町
台風に備え飯尾川(角ノ瀬ファブリダム)
の解放に立ち会う

←徳島市入田町
金寺谷川、百合谷川の現状に立ち会う

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党

徳島選挙区

おか ゆうき
岡 佑樹

当選回数/2回



徳島県議会議員の岡 佑樹
(おか ゆうき)です。

初当選させていただいて以来、
是々非々を貫く、という信念のもと、
行財政改革を徹底し、持続可能な
徳島を創る、不平等や不公正を是
正し、信頼できる徳島を創る、とい
うことに主眼を置いて、議員活動
を行ってきました。

今任期においては、新未来「創
造」とくしま行動計画と人口減少
対策について、県職員の関係団体
への派遣について、徳島東環状
線について、補助金と助成金の見
直しについて等、徳島の将来に大
きな影響があると考えられる課題につ
いて議会で質問してきました。

新未来「創造」とくしま行動計
画と人口減少対策については、
施策全体の見直しと重点化を進

めて、徳島県の未来像を分かりや
すい形でハッキリと示すべき、人口
減少対策については、原因をしっ
かりと分析し、流出前の若い人た
ちが何故故郷を離れるという選択
をしようとするのかということ把握
した上で、政策立案をすべきとい
うことを申し上げました。

国全体が人口減少に転じてい
る中で、今徳島にいる若年世代の
人が魅力を感じる徳島を創ってい
くことが、人口減少の最も効果的
な政策であると考えています。

これからもさまざまな世代のご
意見をお伺いしながら、魅力ある
徳島創りに取り組んでまいります。

補助金と助成金の見直しでは、
徳島化製事業協業組合という一
企業に、23年間にわたり、48億円
を超える補助金が支出されている
ことを例に挙げて、補助金・助成金
についての全面的な見直しを質
問しました。

例に挙げた補助金は、
類似施設のある他県には
無いものであり、何故徳島
だけが補助が必要であるとい
う判断をしたのかということを中心
に、他の補助金・助成金について
も現在必要性がないにも関わらず、

支出され続けているものがあるの
ではないか、また逆に、時代の変
化に伴い新たに必要となっている
分野については、過去の事例がな
い為に必要な補助や助成がで
きていないのではないかと、経済
も好転してきたとはいえ、未だに
厳しい状況であるのなら、本当
に必要なところに集中させていく
べきである、という事を提案しま
した。

また、補助金と助成金の総額は
415億円という巨額が投じられ
ています。不要な経費の削減と必
要なものへの集中、新たな問題に
対応する団体の育成は、早急に取
組まなければならない課題である
と考えています。

大きな変革の時期を迎えていま
すが、未だに旧態依然の対応を
続けていけば、衰退の一途を辿る
ことは免れません。古いものすべ
てを否定はしませんが、新たな視
点でのチェックもないままに、不
必要になった支出を続けていく余
裕は徳島県にはありません。

山積する課題一つ一つに、是々
非々で臨み、より良い徳島を創り
上げていくために、これからも全
力で取り組んでまいります。



県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党

徳島選挙区

副幹事長

いかわ りゅうじ

井川龍二

当選回数/2回



井川龍二 県議会での経歴

平成27年 県土整備委員会委員長

平成28年 徳島県監査委員

平成29年 総務委員会委員長

平成30年 徳島県議会自由民主党副幹事長



平成30年9月県議会代表質問(H30.9.19)



ふるさと徳島の未来を担う若者を前に講演
(H28.7.14 徳島文理大学)



高校生との意見交換会
(H29.5.10 富岡西高等学校)

笑顔あふれる「ふるさと徳島」を目指して!

①心豊かな徳島を!

「全ての世代」が夢と生きがいのもと心豊かに暮らし、UIターンで移住定住を推進し、「人生百年時代」にふさわしい、健康長寿で地方創生のモデルとなる「県都とくしま」づくりを進めます。

②活性化する徳島を!

ICTによる企業の「生産性革命」や、「若者への技能伝承」及び「事業承継」「農林水産業の六次産業化」を通じて、「魅力ある雇用」を創出し、地域経済が活性化する「県都とくしま」づくりを進めます。

③キラリと輝く徳島を!

徳島の誇る文化や、スポーツ、飲食業の集積を活かし、観光客が昼夜を通し楽しめる「ナイトエコノミー」を推進するなど、キラリと輝く「県都とくしま」づくりを進めます。

④災害に強い徳島を!

南海トラフ巨大地震、中央構造線・活断層地震などの「大規模自然災害」をしっかり迎え撃ち、「安全安心」に暮らせる、災害に強い「県都とくしま」づくりを進めます。

⑤住民目線の徳島を!

愛するふるさと徳島の未来に向けて、不断の「行財政改革」を促進し、大切な税金が効率的かつ効果的に活用される行政体制を構築することで、新たな住民ニーズに即応出来る「県都とくしま」づくりを進めます。

平成30年9月県議会代表質問(H30.9.19)

①問：県と市が、移住交流者の増加につなげる具体的な戦略と実践策は?

答：現在、徳島市において検討中の移住ワンストップ窓口となる移住交流支援センターの開設に向け積極的な支援を行うなど、情報発信から移住実現までの切れ目のない移住交流促進策を打ち出し、県外からの移住者のさらなる増加に繋げる。

②問：インバウンドの徳島誘客に向けて、「ナイトタイムエコノミー」の推進に、戦略的に取り組むべきでは?

答：施設の営業時間延長や電子決済システムの普及など、受入環境の整備についても、十分検討し、安心して快適な徳島の夜の観光の充実を図り、本県経済の活性化を目指して参りたい。

③問：TPP11等による経済グローバル化に向けた基本方針の策定に、今後どのような考えをもって臨むのか?

答：守りから攻めへと転じるという方向性の下に「経済グローバル化対応基本方針」を策定する。県産農林水産物の輸出強化や人口知能(AI)を活用したスマート農業による生産性の向上を図る。

愛する故郷徳島のために一心不乱で働いていく事をお誓いいたします。 井川龍二

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組めます!

徳島県議会 自由民主党

徳島選挙区

すみ かずひと
須見一仁

当選回数 2回



徳島県議会議員の須見一仁(すみ かずひと)です。

私は、「人づくり」、「暮らしづくり」、「産業づくり」を議員活動の基本に据えて、県政の発展に取り組んでまいりたいと考えております。県民の皆様方、中でも、子どもたちが夢や希望をかなえられるような「夢・安心・活力がいっぱいの徳島を」つくっていくため、私自身が「新しい芽」となり、根を張り、成長していきたいと考えております。

以下、今任期中の県議会での一般質問です。

■平成27年12月7日 質問事項

- 1 水素社会の実現
- 2 消防防災ヘリを活用した防災対策
- 3 吉野川における堤防決壊を想定した水防体制
- 4 若手防災士の育成
- 5 発達障がい者の支援
- 6 特別支援教育の推進
- 7 スポーツ競技力向上

【質問6】

障がいのある子供たちが、社会に出て自立し、地域の一員として活躍するためには、学校における障がい特性の理解促進や、企業や関係団体と連携した取組みが何よりも大切であると考えます。障がい特性に応じた本県らしい、独自の特別支援教育をどのように進めていくのか?

答 一人一人の障がい特性も異なるため、個に応じた適切な指導や必要な支援ができる職員の専門性、大学教授などの専門家から成る発達障がい教育・自立促進アドバイザーチームを新たに設置し、学校コンサルテーションの手法を用い、教員自らが事業改善をしていく。専門家や企業、関係機関との連携を密にしながら、教員の専門性向上を図るとともに、将来の自立に向けた就職はもとより、大学等への進学支援の充実に取り組む。

■平成28年6月15日 質問事項

- 1 関西ワールドマスタースゲームズ
- 2 鳴門運動公園野球場
- 3 消防団員の確保
- 4 橋の博物館
- 5 地球温暖化対策
- 6 男女共同参画基本計画
- 7 子育て支援
- 8 認知症対策

【質問7】

昨今の子育て環境、特に保育所等に関する問題は社会的関心が高まっており、地域の実情や子育て家庭のニーズに応じた質の高い保育サービスを提供するためには、県による市町村への支援や県としての取組みが不可欠である。待機児童の解消に向けてはどのような取組みを行っていくのか?

答 今年度は、保育士の確保に向け、保育士試験の年2回の実施、保育士修学資金等貸付事業の創設を新たに取り組むこととしており、保育の受け皿拡大の取組みとあわせて、市町村と緊密に連携し、待機児童の解消に向けて全力で取り組む。

■平成29年6月21日 質問事項

- 1 国民健康保険制度改革
- 2 徳島県総合防災訓練
- 3 民間事業者との包括連携協定
- 4 医療観光の推進
- 5 農林水産物の輸出拡大
- 6 障がい者スポーツの振興
- 7 明るく活力あるスポーツライフの実現とスポーツ王国の復活

【質問4】

近年の訪日外国人の増加や、徳島阿波おどり空港の国際化対応を踏まえ、医療観光を再び推し進め、インバウンド促進を図ってはどうか?

答 医療観光は新たな観光資源として大きな期待が寄せられている。医療通訳の養成や派遣調整、受診結果の翻訳支援などの実証を行うとともに、豊かな地域食材や魅力的な体験型観光との有機的な連携を推進していく。

■平成30年6月22日 質問事項

- 1 宿泊者数最下位を脱却するための観光誘客戦略
- 2 県管理河川の減災対策
- 3 応急仮設住宅の速やかな建設
- 4 県営電気事業を取り巻く環境の変化
- 5 障がい者芸術文化の振興
- 6 6次産業化に対応していくための教育
- 7 消防団の充実強化

【質問1】

宿泊者数全国最下位からの脱却に向け、宿泊施設の充実を促進する施策が必要と考えるが、所見を伺いたい。

答 国が実施する宿泊旅行統計調査における本県の延べ宿泊者数は、3年連続で最下位となっており、経済効果の大きい宿泊者数の増加を図ることが課題である。宿泊施設の充実を図る民間投資を促進することが重要である。再び宿泊したいと思っただけの施設へのリニューアルや魅力アップに対する取組を支援する制度を創設し、9月補正予算での対応を視野に鋭意検討していく。



鳴門市に

お住いの皆さまへ

配達地域指定

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組めます!

徳島県議会
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党

鳴門選挙区

副会長

かわばた まさよし

川端正義

当選回数 / 5回



今、すぐに始めなければ!

地域の魅力

ここで育てたい、暮らしたい、
働きたいと思えるふるさとを…。

地域(徳島)で生まれた子どもたちが、地域で育ち、学び、地域で就職し、また将来、地域に貢献できる担い手を育成するために、生活環境の整備と地域ならではの魅力を創出していきます。

また、観光振興議員連盟会長として、「鳴門の渦潮」の世界遺産登録を目指した啓蒙活動を行っています。

地域の経済力

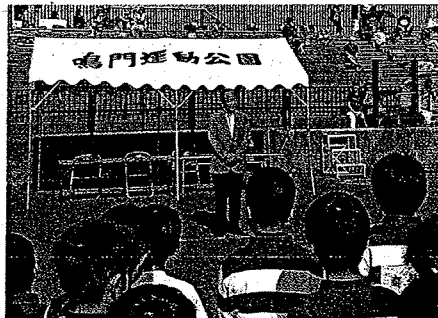
豊かな暮らしは、豊かな経済力から!

子どもからお年寄りまで、誰もが笑顔で暮らせる医療・介護社会を実現するためには、地域の経済力が必要です。

中小企業、農業、水産業など、地場産業の育成は、地域の人たちの働く場所を確保するだけでなく、都会に出た若者がふるさとに帰るきっかけ作りにもなるはずです。



高齢者の健康についての講演



ラグビー大会での激励



鳴門市中央地区自主防災会の防災訓練

地域の子育て力

地域の宝物である子どもは、地域で育てる!

一昔前には、近所の大人達がいたずらをした子どもを叱る光景等がありました…。

個人主義が加速する世の中で、子どもが道徳観や社会性を身につけるためには、家庭教育を踏まえた上で、地域全体で子育てをするという意識を高めることが不可欠です。それが人口減少をSTOPさせるための秘策ではないでしょうか。

地域の防災力

いざという時に役立つ、ご近所との絆。

災害時、近所が声を掛け合い助け合うことで、被害を最小限に食い止めることができます。それには日頃から絆を深めることが大切です。

“向こう三軒両隣”地域が一つになって災害と向き合うことの大切さを発信してゆきます。

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党

鳴門選挙区

副幹事長

おかだ りえ

岡田理絵

当選回数 / 3回



～明るい未来を鳴門から～

徳島県議会議員の岡田理絵(おかだ りえ)です。県民と県政、子どもと未来、人と人、地域と地域をつなぎ、「人がにぎわい活力ある県、徳島」をめざし、この11年、徳島県議会議員としての日々を全力で邁進してまいりました。初心を忘れることなく、高齢者の皆様から知恵をいただき、若い皆様と徳島の未来を語り、それぞれの世代の長所を生かし、つなぎ、未来を創っていく、それが私の使命だと感じています。皆様とともに力を合わせ一人ひとりが輝く社会が実現できるよう元気な阿波女、これからもしっかりと頑張っまいります。

平成30年9月定例会一般質問 (2018年9月21日)

問1:鳴門市西部地域と四国横断自動車道や阿波おどり空港とのアクセス性向上、並びに津波避難場所に指定されている松茂パーキングエリアへの最短の津波避難道路となる県道徳島空港線を県道徳島鳴門線まで延伸すべき。

答:道路整備によりストック効果の最大化を図り、地方創生につながる地域の好循環を実現させるため、西延伸の調査・設計を年内に開始し、事業化に取り組む。



松茂スマートインターチェンジから西側を見たところ

問2:南海トラフ巨大地震による津波へ備えるため、撫養川の地震・津波対策を積極的に推進すべき。

答:撫養川の延長3.4キロメートルの堤防強化は、最新の技術的知見を取り入れ、全区間の耐震性能を段階的に向上させる対策の設計に着手。南海トラフ巨大地震を迎え撃ち、住民の皆様方に安全・安心を実感していただけるよう撫養川の地震・津波対策にしっかりと取り組む。

問3:大谷川の治水や環境など、水問題の解決に向けた「大谷川・流域・水管理計画」を策定すべき。

答:官と民が連携した「大谷川・流域水管理計画」の策定に着手し、大谷川の多様な魅力と命を守る暮らしを次の世代へ引き継ぐため川の維持管理にしっかりと取り組む。

問4:鳴門の文化や遊山箱等、徳島の魅力的な文化を活用した観光誘客の推進など、地元と一体となって鳴門の渦潮の世界遺産登録に向けた機運醸成を図るべき。

答:地元や関係団体との連携を密にし、魅力ある徳島の文化を活用



した観光誘客など、地域の活性化に取り組むことで鳴門の渦潮の世界遺産登録に向けた更なる機運醸成を図り、その早期実現を目指し、積極果敢に取り組む。



鳴門海峡の渦潮を世界遺産へ取り組みの活動

問5:鳴門でもゴルフやウエイトリフティングが開催される「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の周知に、どう取り組むのか。

答:スポーツを通じた交流拡大の絶好の機会と捉え、さらなる認知度の向上や機運醸成を図り、ワールドマスターズゲームズに参加する多くの方々が、競技や交流を通じて本県の魅力を堪能し、また訪れたいと思っただけできるよう取り組む。



ワールドマスターズゲームズ2021関西
ウエイトリフティングが鳴門市で開催

問6:本県生徒のさらなる「学力向上」と、中学生が希望する進路選択をかなえられるように、普通科高校の特色化・魅力化の推進と、通学区域制の見直し検討を実施し、新たな視点や発想に基づいた教育を推進すべき。

答:県教育委員会として、これからの「通学区域制に関する有識者会議」における議論の結果を踏まえ、普通科高校の特色化・魅力化の視点も取り入れながら、徳島の未来を担う子供たちがその個性や能力を十分に発揮することができるよう、将来を見据えた制度づくりに向け、知恵を結集し、検討していく。

徳島県議会
自由民主党

料金別納
郵便

小松島市・勝浦郡に
お住いの皆さまへ

配達地域指定

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組めます!

徳島県議会
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党 小松島・勝浦選挙区

なかやま としお
中山俊雄

当選回数/2回



暮らしを守る! ふるさと創生!! 人口減少に歯止めをかけ、地方創生の実現を!

徳島県議会議員の中山俊雄(なかやまとしお)です。

我が国では世界に例を見ない速さで人口減少と高齢化が進行しています。徳島県も例外ではありません。本年10月1日現在の推計人口は73万6475人で、ピークであった1956年と比べて約14万人も減少しました。65歳以上の高齢者が占める割合も3人に1人となっており、今後も増え続けると予測されています。社会保障制度の見直しや働き手確保など、超高齢社会への早急な対応策を見いださなければなりません。

私は、住み慣れた地域で誰もが生きがいを持って暮らせる社会を実現するために、議員活動や地域での活動を続けています。

平成27年6月定例会の一般質問では、若者の県内定着推進について質問するとともに、平成30年1月には、徳島文理大学の学生に対し、今の徳島県が抱える様々な問題やふるさと回帰の重要性について丁寧に説明し、若者の柔軟な発想や視点を活かした地域活性化や交流人口の拡大についての意見交換会を実施しました。

また、地域でボランティア活動を熱心にされている方々と一緒に、保育園や幼稚園、社会福祉施設等を訪問し、直接現地で交流することにより、少子高齢化が抱える課題の把握に努めています。

また、私は常日頃から、県民が主役となって活躍できるような文化振興策が重要であると考えており、県議会において文化振興に関して様々な提言を行ってまいりました。

こうした私の議会活動を支える実践の場として、「文化の力でまちおこし」という大きな御旗のもと、小松島出身で世界的に有名な音楽家である住友紀人氏や地元の有志の人達の協力を得て、「やまももフェスタ」というイベントを始めました。

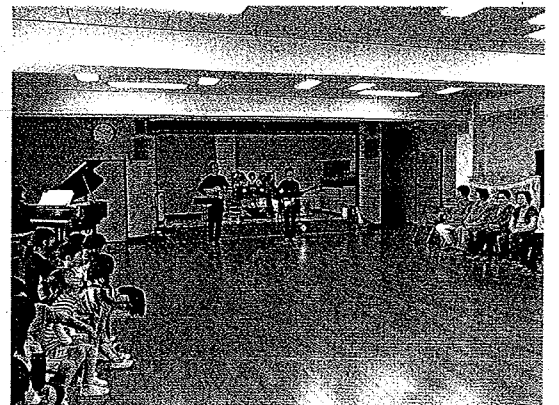
「やまももフェスタ」という発表の場を提供することで、小松島市内で音楽や絵画、手工芸等さまざまな文化活動を熱心に続けている方々に芸術・文化を続ける喜びを感じてもらい、小松島の良さを広く知ってもらい、賑わいを取り戻したいと思い始めました。

3年前からは、小松島西高等学校勝浦校民芸部の浄瑠璃の上演を行うなど、伝統文化の継承にも取り組んでおり、幼稚園から社会人まであらゆる世代の人々が一緒に楽しみ、賑わいの創出に貢献しています。

これからも、こうした活動を積極的に続けてまいります。



徳島文理大学の生徒達と、徳島県における「地方創生」への取り組みについて意見交換会



地域の皆様と一緒にボランティア活動をしています。



文化の力でまちおこし「やまももフェスタ」